

第18回 環境コミュニケーション大賞

表彰式



日時 2015年2月25日(水)

13:30~16:15

会場 品川プリンスホテル(東京都港区高輪4-10-30)

主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

協賛：一般社団法人 サステナビリティ情報審査協会

協力：一般財団法人 持続性推進機構、日本公認会計士協会

後援：株式会社 東洋経済新報社、一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所、株式会社 日本取引所グループ

第18回環境コミュニケーション大賞 表彰式

1.プログラム

・開会挨拶	環境大臣	望月 義夫
・表彰状授与	環境大臣賞	全部門
	その他各賞	環境報告書部門 環境活動レポート部門 テレビ環境CM部門
・受賞者代表挨拶	キリンホールディングス株式会社	中島 肇
・講評	環境監査研究会代表幹事/ G4 マルチステークホルダー委員会アドバイザー	後藤 敏彦
・審査委員長特別講演	東京大学名誉教授/ 東京都市大学特任教授	山本 良一
・閉会挨拶		

1.プログラム.....	1
2.開催趣旨	2
3.表彰の実施にあたって	3
4.受賞一覧	5
5.受賞作品講評.....	9
6.審査委員	38
7.応募団体一覧.....	41

2. 開催趣旨

2.開催趣旨

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びテレビ環境CMを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度であり、今年で18回目を迎えます。

表彰部門は、CSR(企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility)報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション21に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」、テレビ放送で放映された環境コマーシャルを対象とする「テレビ環境CM部門」の3部門です。

環境報告書は、事業活動に伴う環境負荷や環境配慮の状況をステークホルダーに説明するものです。環境配慮経営を効果的に実践するためには、社会からの要請や事業と環境との関連を中長期的な視点で見えていくことが重要です。環境報告書により、事業者が環境配慮経営の考え方や取組を分かりやすくステークホルダーに伝えることで、ステークホルダーからの要請や期待を経営にフィードバックしていくことが可能となります。

これまで以上に長期的な企業価値の向上のためのESG(環境・社会・ガバナンス)情報等の開示が求められるようになってきた今日、第18回環境コミュニケーション大賞では、最新の報告書の動向に対応するだけでなく、審査委員を増員することでこれまで以上に多様な立場の専門家による審査を実現するとともに、優れた報告書のトレンドをまとめたフィードバックを全応募事業者に行うことで、事業者等とステークホルダーの良好なコミュニケーションの実現を加速させ、環境と経済の好循環に貢献することを願っています。

3.表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2014年9月18日から2014年11月7日にかけて募集を行い、環境報告書部門191点、環境活動レポート部門113点、テレビ環境CM部門3点、あわせて307点の応募がありました。審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

[環境報告書部門]

環境報告書部門 68点	環境報告大賞(環境大臣賞)	1点
	持続可能性報告大賞(環境大臣賞)	1点
	地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)	1点
	環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
	持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
	地球温暖化対策報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
	生物多様性報告特別優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
	信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
	審査委員会特別優秀賞(第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	3点
	環境配慮促進法特定事業者賞 (第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	4点
	優良賞(第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	50点

[環境活動レポート部門]

環境活動レポート部門 20点	大賞(環境大臣賞)	1点
	優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3点
	優良賞(第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	16点

[テレビ環境CM部門]

テレビ環境CM部門 1点	大賞(環境大臣賞)	該当なし
	優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点

3.表彰の実施にあたって

[環境報告書部門] について

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。

今年度は「環境報告大賞」、「持続可能性報告大賞」、「地球温暖化対策報告大賞」に加え、「環境報告」、「持続可能性報告」、「地球温暖化対策報告」に関する記述について優れた報告書には「環境報告優秀賞」、「持続可能性報告優秀賞」、「地球温暖化対策報告優秀賞」として表彰するほか、新しい国際的な枠組みに対し積極的に取り組んでいる報告書を「審査委員会特別優秀賞」として表彰を行います。また、昨年度同様、「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書については、「生物多様性報告特別優秀賞」「信頼性報告特別優秀賞」として表彰します。

また今年度より新たに、環境配慮経営を意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、分かりやすい情報の開示がなされている報告書など、他の模範としてふさわしい情報の開示を進めている報告書を「優良賞」として表彰します。

[環境活動レポート部門] について

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。今年度より「大賞」「優秀賞」に加え、同業他社や同等の事業規模の事業者間で模範となる優良な環境活動レポートを、環境報告書部門と同様に「優良賞」として表彰します。

[テレビ環境CM部門] について

テレビ環境CM部門については、個別に別途の専門家等による審査委員会を設けて審査を行い、「優秀賞」を決定しました。

4.受賞一覧

環境報告書部門

環境報告大賞	(環境大臣賞)	1点
キリンホールディングス株式会社	キリングループ環境報告書 2014	
持続可能性報告大賞	(環境大臣賞)	1点
味の素株式会社	味の素グループ サステナビリティレポート 2014 (フルレポート)	
地球温暖化対策報告大賞	(環境大臣賞)	1点
大和ハウス工業株式会社	大和ハウスグループ環境報告書 2014 ～「環境」との共創共生～	
環境報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
セコム株式会社	セコム株式会社 CSR レポート 2014	
株式会社日立製作所	日立グループ サステナビリティレポート 2014	
持続可能性報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
大阪ガス株式会社	大阪ガスグループ CSR レポート 2014	
本田技研工業株式会社	Honda 環境年次レポート 2014 グローバル編 Honda 環境年次レポート 2014 日本編 Honda 環境年次レポート 2014 日本編 データ集 Honda 環境年次レポート 2014 PREMIUM EDITION	
地球温暖化対策報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
マツダ株式会社	マツダ会社案内・マツダサステナビリティレポート【ダイジェスト版】 2014 マツダサステナビリティレポート 2014【詳細版】	
ヤマトホールディングス株式会社	ヤマトグループ CSR 報告書 2014【ハイライト版】	
生物多様性報告特別優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
サラヤ株式会社	持続可能性レポート 2014	
信頼性報告特別優秀賞	(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
株式会社クボタ	KUBOTA REPORT 2014 - 事業・CSR 報告書(WEB 版)	
審査委員会特別優秀賞	(第 18 回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	3点
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2014 WEB 版プリントアウト資料	
富士フイルムホールディングス株式会社	富士フイルムホールディングス サステナビリティレポート 2014	
株式会社東芝	東芝グループ環境レポート 2014 東芝グループ CSR レポート 2014 東芝グループアニュアルレポート 2014 年 3 月 ・事業編 東芝グループアニュアルレポート 2014 年 3 月 ・財務編	

4.受賞一覧

環境配慮促進法特定事業者賞	(第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	4点
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	JAXA 社会環境報告書 2014	
国立大学法人京都大学	京都大学環境報告書 2014	
国立大学法人熊本大学	えこあくと 2014 (熊本大学環境報告書)	
国立大学法人三重大学	世界の「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 環境報告書 2014	
優良賞		50点
アースサポート株式会社	CSR 報告書 2014	
アズビル株式会社	azbil report 2014	
荒川化学工業株式会社	環境・社会報告書 2014	
飯野海運株式会社	経営報告書 2014(日本語版・英語版)	
イオン株式会社	イオンの環境・社会への取り組み 2014 イオン 環境・社会報告書	
株式会社伊藤園	S-book Sustainability Report 2014 Communication book 2014 年度 伊藤園 CSR 目標(KPI)・環境目標 (2013 年度実績を含む)	
伊藤忠商事株式会社	CSR Report 2014	
株式会社イムラ封筒	株式会社イムラ封筒 環境報告書 2014	
大阪いずみ市民生活協同組合	CSR レポート 2014 社会的責任報告書ダイジェスト版 CSR レポート 2014 社会的責任報告書詳細版	
株式会社岡村製作所	株式会社 岡村製作所 CSR Report 2014	
キヤノン株式会社	Canon Sustainability Report 2014	
近畿日本鉄道株式会社	CSR レポート 2014	
埼玉日本電気株式会社	環境アニュアルレポート 2014	
サントリーホールディングス株式会社	サントリーグループ CSR レポート 2014	
株式会社滋賀銀行	CSR リポート 2014 地域と共に描く未来。	
シスメックス株式会社	シスメックスあんしんレポート 2014	
株式会社島津製作所	島津環境・社会報告書 2014	
シャープ株式会社	シャープ サステナビリティ レポート 2014	
シャープ株式会社 亀山工場	CSR Report2014 亀山工場環境取り組みのご紹介	
シャープ株式会社 三重工場	シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2014	
株式会社商船三井	商船三井グループ 環境・社会報告書 2014	
住友化学株式会社	住友化学 CSR レポート 2014 住友化学 CSR レポート 2014 DATA BOOK	
住友ゴム工業株式会社	住友ゴムグループ CSR 報告書 2014	
住友電気工業株式会社	SEI CSR 報告書 2014	
損保ジャパン日本興亜 ホールディングス株式会社	CSR コミュニケーションレポート 2014 CSR 取り組み事例集	

大日本印刷株式会社	DNP グループ CSR 報告書 2014 DNP グループ環境報告書 2014
太平洋セメント株式会社	CSR レポート 2014
武田薬品工業株式会社	Annual Report 2014(AR) CSR Data Book 2014(CDB)
株式会社タムロン	CSR 報告書 2014
中国電力株式会社	2014 エネルギアグループ環境報告書
帝人株式会社	2014 年 帝人グループ CSR 報告書
株式会社ティラド	社会・環境報告書 2014
東京都水道局	東京都水道局環境報告書 2014 東京都水道局環境報告書 2014 概要版(日本語版・英語版)
東邦ガス株式会社	環境・社会報告書 2014
東洋インキ SC ホールディングス株式会社	東洋インキグループ 社会・環境活動報告書 2014
東洋製罐株式会社	サステナビリティレポート 2014
日本精工株式会社	CSR レポート 2014
日本製紙株式会社	日本製紙グループ CSR 報告書 2014
日本通運株式会社	CSR REPORT 2014
日本電信電話株式会社	NTT グループ CSR 報告書 2014 アニュアルレポート 2014
日本郵船株式会社	NYK レポート 2014
ヒューリック株式会社	CSR レポート 2014
富士通株式会社	富士通グループ環境報告書 2014
ブラザー工業株式会社	環境への取り組み 環境スペシャルサイト「brotherearth.com」
株式会社ブリヂストン	ブリヂストングループ環境報告書 2014
三菱樹脂株式会社 平塚工場	2014 環境報告書 三菱樹脂 平塚工場
リコーグループ	リコーグループサステナビリティレポート 2014
理想科学工業株式会社	環境経営報告書 2014
株式会社リヴァックス	CSR 報告書 2014
レンゴー株式会社	環境・社会報告書 2014

4.受賞一覧

環境活動レポート部門

大賞	(環境大臣賞)	1点
イワヤ株式会社	環境活動レポート 2013 年度版	
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3点
上島珈琲貿易株式会社	上島珈琲貿易株式会社 2013 年度環境活動レポート	
木下緑化建設株式会社	環境活動レポート	
株式会社 GE	環境活動レポート 2014	
優良賞		16点
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会吹田病院	平成 25 年度さいすい環境活動レポート	
株式会社 KDP	環境活動レポート 2013	
有限会社坂井商店	エコアクション 21 環境活動レポート 2014	
有限会社三立	2013 年度環境活動レポート	
しずおか信用金庫	環境活動レポート 2014	
株式会社シュガーアンドスパイス	2013 Sugar&Spice 環境活動レポート	
株式会社セリタ建設	株式会社セリタ建設 環境レポート 2013	
高島屋スペースクリエイツ株式会社	環境活動レポート 2014	
株式会社 DINS 堺	環境活動レポート 2014	
株式会社トーカイ	環境活動レポート 2013 年版	
株式会社仁張工作所	環境活動レポート	
株式会社林自動車工業	エコアクション 21 環境活動レポート	
株式会社北陽商会	環境活動レポート(Vol.10)「地球と仲良し」	
株式会社弥生石油	環境活動レポート 2012 年 12 月～2013 年 11 月	
ユーレックス株式会社	2013 年度 環境活動レポート	
来ハトメ工業株式会社	環境活動レポート 2014 年版	

テレビ環境CM部門

大賞	(環境大臣賞)	
※該当なし		
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
株式会社東芝	あなたと LED の 10 年	

5.受賞作品講評

環境報告書部門

環境報告大賞（環境大臣賞）

キリンホールディングス株式会社

キリングroup環境報告書 2014

環境報告書としてまとまりがある構成になっており、内容も充実している。これまでの環境報告書の完成形といってよい。特に、4つの取組(水資源・生物資源・容器包装・地球温暖化)については長期ビジョンに始まり、リスクと機会なども明確になっていて、同社の環境活動に対するコミットメントの強さを感じることができる。業種的に取り組みやすいとはいえ、資源への取組は見事である。豊富なデータも見やすくまとめている。長期的な姿勢はこれからの重要ななぐれであり、他社の参考になるとと思われる。昨今、大きな関心と呼んでいる財務と非財務上を統合する統合思考へのチャレンジでも先頭を切ってもらいたい。



この環境報告書について

■ 編集方針

キリングroupは長年にわたり、外部有識者やNGO等のステークホルダーのご意見をとりいれながら、取り組みの経営上の重要性を決定し、事業に伴って発生する環境負荷の削減に取り組んできました。「キリングgroup環境報告書」では、次の項目ごとに重要性を判断し、掲載するようになっています。

■ 環境戦略・活動内容

「キリングgroup長期環境ビジョン」において特定した4つの重点領域(生物資源、水資源、容器包装、地球温暖化)は、キリングgroupの事業上の重要性に加え、groupの特性を活かした環境取組が大きく期待されている分野として、外部有識者やNGO等のステークホルダーのご意見を取り入れて決定しました。また、経済成長に伴う環境負荷増大をふまえ、汚染の予防へのコミットメントについても取り上げています。

各領域での課題認識や目標は、地域ごとの法規制や市場特性、ステークホルダーの見解等をふまえたリスク・機会の判断をもとにして、キリングgroupの各種マネジメントプロセスを経て決定しました。このようにして決めた目標ごとに、当該年度における主要な取り組みやその進捗と成果、特に顕となるパフォーマンスデータを記載しています。

■ 環境マネジメント

キリングgroupの環境ガバナンスと方針、教育、法令遵守、サプライチェーン管理等に関する基本情報を記載しています。

■ 資料・データ等

資料の信頼性の観点から、重点領域を含め、キリングgroupの事業に関わる全ての主要な環境側面について、取り組みの成果や状況、これまでの歴史を表す補足データを記載しています。直接管理できる範囲に加え、可能な場合は「リ」チェーン上のデータも示しています。鍵となるパフォーマンスデータについては「活動内容」に記載しています。

その他、各種関連情報として、下記も併せてご覧ください。

■ サステナビリティレポート2014

Web版 <http://www.kirinholdings.co.jp/sv/index.html>

PDF版 <http://www.kirinholdings.co.jp/sv/report/pdf/index.html>

■ キリンホールディングス アニュアルレポート2013

http://www.kirinholdings.co.jp/info/library/annual_report/index.html

■ 協賛誌キリン アニュアルレポート

http://www.kyoma-kirin.co.jp/library/annual_report/index.html

■ ライオン サステナビリティレポート2013

<http://lion.com/sustainability/report/>

■ プラダ キリン 2013 サステナビリティレポート

<http://relabio.tba.com/belva/>

■ 対象期間

2013年度(2013年1月~12月) ただし、ライオンの一部環境データは2012年10月~2013年9月としています。また、※欄に応じて過去3年から5年程度の経年推移を掲載しています。

■ 対象組織の範囲(2013年度)

国内総合飲料事業	キリン、キリアンティ、コニエーションズ、キリンエンジニアリング、キリンティール、キリンフーズシステム、キリンビール、キリンビールマーケティング、キリンディスタリ、キリン物産、キリン・チキンの子会社、イオン・キリン・キリン、東海堂、メジヤム、第一フードコーポ、日本リカー、フインキョーレーション、キリンビバレッジ、協和バイオケミカル、キリン食品インベスティメント、キリンメンチアス・サービス、キリンビバレッジ・エス・エス・エス(北海道、仙台、東京、甲府、九州)、協和バイオケミカル、ヒバケス
海外総合飲料事業	韓国(韓国) 協和製菓(韓国)、東洋製菓(韓国) 有限会社、ライオン、プラダ/キリン、インターナショナル・キリンビバレッジ
医薬・バイオケミカル事業	協和製薬キリン、協和メドックス、協和製薬バイオ、第一ファインケミカル、麒麟製薬、協和製薬(中国) 製薬有限会社、BioKyowa、上海協和アミノ酸有限会社
その他事業	キリンホールディングス、キリンビバレッジ・エス・エス・エス、キリンビバレッジシステム、小坂製菓、東洋製菓、キリン・エコー

2013年10月、協和製菓(中国)の事業買収が行われ、新たに、新たにキリン(協和)の連結範囲内になりました。
 ※ 2012年度以前のデータの対象組織の範囲については、69ページをご覧ください。

■ 環境データ算定方法

環境データの算定において使用した換算係数は下記の通りです。

エネルギー単位の燃焼量	電力については、IEA(International Energy Agency)国際エネルギー機関)などが用いている3.6MJ/kWhを使用。その他化石燃料については、日本のエネルギーの使用の合理化に関する法律(燃焼)の換算を使用。
CO ₂ 換算係数	燃料のCO ₂ 換算係数は「産業地産ガス排出量測定・報告マニュアル」(環境省)の換算係数を使用。電力のCO ₂ 換算係数は、協和製菓(中国)の換算係数を使用。海外はEPA(CO ₂ Emissions from Fuel Combustion 2012)より地域別の排出係数を使用。

■ 参考にした外部基準

GRIガイドライン第4版 ※標準表示(開示)の準拠は、p.70~71を参照ください。

環境省 環境報告ガイドライン(2012年版)

気候変動情報開示委員会(CDRI) 気候変動報告フレームワーク2010(第1版)

本環境報告書に記載された見解、目標、計画など商業に際する記述については、資料提供時点の当社の判断に基づいたものであり、将来の状況の変化により記述とは異なる結果となる不確実性を含んでいます。またリスクと機会については、必ずしも投資家のみに重要な影響を及ぼすリスクと機会に限定しない事項も、機動的な情報開示の観点から記載しています。なお、協和グループは、事業に環境と社会をリスクと機会として、リスク管理戦略を確立し、その内容(環境)を管理する上にも、リスクが顕在化した場合には最善の努力をいたします。

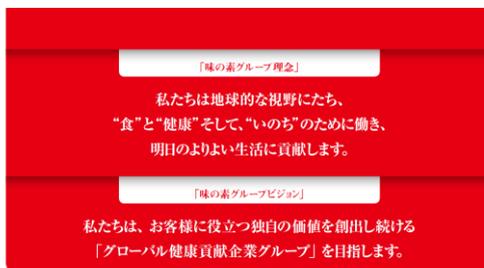
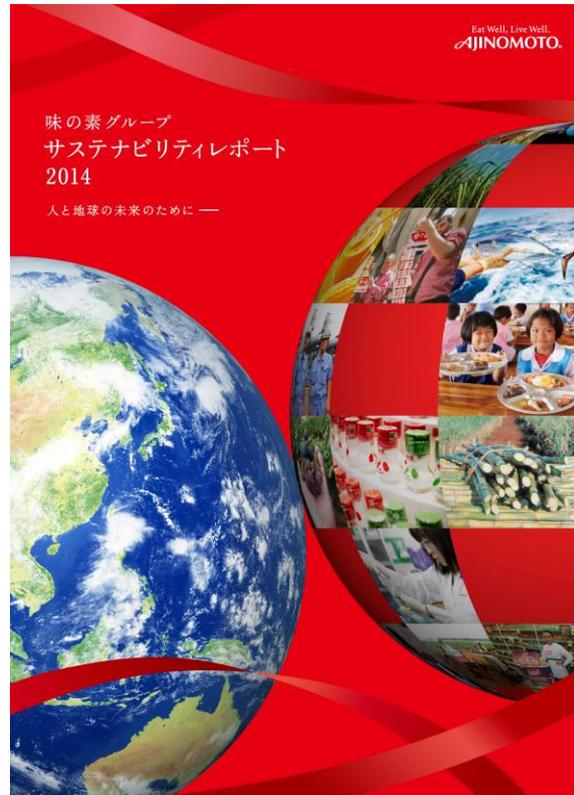
お問い合わせ先
 キリンホールディングス 広報課 環境
 〒164-0001 東京都中央区西四丁目10番2号 中野セントラルパークサウス
 TEL 0120-766-560

5. 受賞作品講評

持続可能性報告大賞（環境大臣賞）

味の素株式会社 味の素グループ サステナビリティレポート 2014 (フルレポート)

食品産業として、“人と地球のサステナビリティ”や“人と地球の多様ないのち”といったキーワードで示される持続可能性に深くコミットした良い作品である。重要課題の策定プロセスが、図表を交えながらとてもわかりやすく解説されており、同社のCSR活動の背景をきちんと理解することができる。資源への配慮もよく示されている。また、ISO26000 に則って社会的側面について情報を開示している点も、その内容の充実度や開示の工夫（見やすさ、読みやすさなど）など、他社のお手本となる報告書に仕上がっていると思われる。フルレポートとダイジェスト版の作成など幅広い読者に対応している点も評価されるが、これからは、今後大きな課題となるESG投資への手本となる開示へのチャレンジでも先頭を切ってもらいたい。



報告内容と媒体

- フルレポート (140ページ)
サステナビリティの実現に向けた味の素グループの活動を全体を網羅的に伝えています。
- ダイジェスト版 (40ページ)
フルレポートの概要を基本に、活動内容をダイジェストで紹介しています。
- Webサイト
レポートをダウンロードいただけるほか、様々な関連情報をご紹介します。

<http://www.ajinomoto.com/jp/activity/esr/>



対象組織

原則として、味の素(株)および連結子会社・持分法適用会社の合計112社(2014年4月1日現在)を「味の素グループ」と表記しています。グループ全体の稼働中100%に達していない事業は、報告の範囲外と見做しています。
なお、重要顧客や主要組織についてはフルレポートPDFに掲載しています。

対象期間

2013年度(2013年4月～2014年3月)
ただし、過去の経緯やケース、最前線の事例をまとめたことがある場合は、この範囲以外のものを掲載しています。

発行日: 2014年10月 (PDF版) 11月 (冊子版)
次期発行予定: 2015年7月
前版発行: 2013年10月

CONTENTS

- 1 編集方針
 - 2 目次
 - 3 トップメッセージ
確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニーを目指して
- サステナビリティの実現に向けて
- 5 味の素グループの中期経営計画と価値創造の在り方
 - 7 味の素グループの重要課題の策定プロセス
 - 9 21世紀の人類社会の課題解決に向けたアプローチ

特集 人と地球の未来に貢献するために

- 11 特集1
おいしさと健康な生活を、世界へ
- 21 特集2
限りある食資源を未来につなぐ
- 29 特集3
地球とともに事業を続けるために

2013年度活動報告

- 35 サステナビリティ実現に向けた味の素グループの企業責任 (CSR)
- 37 サステナビリティに向けた考え方の共有
- 38 組織統治 責任ある経営で企業価値を高める
- 46 公正な事業慣行 倫理的で誠実な取引の実践
- 52 人権 事業にかかわるすべての人の権利を大切に
- 56 労働慣行 一人ひとりが能力を発揮し、働きがいのある会社へ
- 74 環境 すべてでのちのちの基盤、地球持続性を守る
- 104 消費者課題 消費者とともに築く持続可能な社会
- 118 コミュニティ 地域に誇らしげに人々とともに築く発展

- 136 サステナビリティ・コミュニケーション インテグレーション
- 137 会社概要

地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）

大和ハウス工業株式会社 大和ハウスグループ環境報告書 2014 ～「環境」との共創共生～

低炭素社会の実現とエネルギーの効率利用を図るため「エネルギーゼロの住宅・建築・街づくり」の推進や、住宅のみならず幅広い建築産業としての省エネルギーへの取組は、設計・製造現場のみならず、製品である建築物の全ライフサイクルを見通した取組は他でも表彰されているように高く評価できる。事業方針を実現するために中長期環境行動計画「エンドレスグリーンプログラム 2015」もよい。さらに土壌汚染、アスベスト使用禁止などの有害物質問題への対応取組について情報公開もしっかりしている。また、省エネ・環境担当役員を置き、生産工程のみならず、製品への有害化学物質使用制限、放散量のチェックにより、リスク軽減をはかっていることも評価できる。生物多様性についても努力が示されている。



共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループ
環境報告書 2014

～「環境」との共創共生～



環境 との共創共生

トップメッセージ

地球環境を未来の世代に引き継ぐために、環境と共生したサステナブルな住宅・建築・街づくりを

持続可能な地球環境を目指して、「環境負荷ゼロ」への挑戦を進める

私たち大和ハウスグループは、2013年11月に発表した「第4次中期経営計画『G&S』 for the Next Step」で、基本姿勢の一つにサステナビリティー（持続可能性）を掲げました。これは、環境・多様化する社会的課題に真摯に向き合い、世の中多くの人の役に立ち喜んでいただける商品・サービスを提供し、持続可能な社会の発展に貢献することが、当社グループの持続可能性（＝成長にもつなげる）との信念からです。

なかでも地球環境の持続可能性は、あらゆる社会活動のベースですが、人類は今すでに地球がみなぎらせる範囲を超える資源消費を与えており、世界人口の増加や経済発展とともにそれを加速させています。私たちは、こうした課題に即ち、地球環境の健全な未来を担って持続可能な社会を実現していくため、あらゆる側面から企業活動の改革を進めています。

私たちが提供する住宅や建築物は、鉄材や木材、内装材の原料など、自然資源から化学物質を利用します。また、建設後は長期にわたり利用され、電力をはじめとする多くのエネルギーが必要となります。さらに、私たちが手がける大規模な開発や街づくりにおいて、自然環境や生態系にも少なからず影響を及ぼします。こうした認識のもと、私たちは2011年に10年先を見据えた「環境中期ビジョン2020」を策定し、「住宅・建築物のライフサイ

クルにおける「環境負荷ゼロ」への挑戦を宣言し、「地球温暖化防止」「資源保護」「自然環境との調和」「有害化学物質による汚染の防止」の4つの視点からロードマップを描き、事業活動と商品・サービスのライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に取り組んでいます。

低炭素社会の実現に向けて、エネルギーゼロの住宅・建築・街づくりを

今後発表されたIPCC第5次報告書では、地球温暖化の進行と気候変動に対するさらしなしい予測が示され、これらの現象を緩和させる「緩和策」の推進には一刻の猶予もなく、併せて影響の低減を図る「適応策」の推進も強く求められました。国内においても各官庁・業種部門のCO2排出量がこの数年間で6割も増加し、東日本大震災以降は電力供給も長期化しており、住宅・建築物においては省エネ創エネスマート化の推進がより一層求められています。

私たちは、こうした現状を踏まえ、低炭素社会の実現とエネルギーの効率利用を図るため、「エネルギーゼロの住宅・建築・街づくり」に注力しています。住宅分野では、全戸建住宅商品において太陽光発電と蓄電池EMSを標準搭載、エネルギーゼロを実現した「スウェーデン」エコハウスの普及を進めます。建築分野では、多様な用途における環境配慮建築のパッケージ開発を進め、

を進めます。

事務所・店舗・工場をはじめ、介護施設や物流施設などでも普及を進めています。また、個々の建物における対策を単体に加え、より効率的かつ広範囲でのエネルギーのゼロ化にも挑戦していきます。

一方、これら電力の需要側の対策に加えて供給側にも働きかけ、グループ内の発電事業者や電力小売業者と連携、自然エネルギーや蓄電池などを活用して再生可能エネルギーの発電事業にも注力しています。まずは早期に大和ハウス工業の電力使用量に相当する以上の再生可能エネルギーによる発電を目指しています。

中期環境行動計画を策定、環境と企業収益の両立を目指す

こうした事業を通じた環境貢献を進めようとして環境しているのは、まず自らが保有・運営する多様な自社施設などで先進的な技術や設備を導入し、運用プロセスの改善を積み重ねるなかで得たノウハウを、新たな商品・サービスの創出につなげることです。これは建設業をベースに多様な事業を手がける当社グループならではのアプローチといえ、私たちの考える環境保全と企業収益が好循環する環境貢献の道です。

2014年1月に発表した中期環境行動計画「エンドレスグリーンプログラム 2015」では、「環境と企業収益の両立」をコンセプトに事業戦略と一体化して進める戦略的環境活動をより重視し、



代表取締役 専務執行役員 環境担当役員
西村 達志

ています。従来の環境パフォーマンス指標だけでなく、新たに環境配慮商品の売上比率や環境貢献率の売上高といった目標を掲げ、環境貢献をさらに前進させていきます。また同計画では、お客さまや従業員に加え、グループ内やお取引先とも目指す目標を共有し、共に考え価値を創造していくプロセスの構築に取り組み、環境活動の輪を広げます。

今後も建設・不動産業界のトップランナーとしての責任と自覚を持ち、お客さまやステークホルダーとの対話を積み重ねながら、環境と共生したサステナブルな住宅・建築・街づくりを通して、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



特徴 ～2013年度の主な取り組み～

- (1) 生物多様性に配慮した緑豊かな街づくり P.05
環境共生型の街（東京都葛飾区多摩ニュータウン東山）
- (2) 日本初CO2排出量ゼロを実現したD'S SMART STORE P.07
光触媒技術を駆使した環境配慮型店舗（千葉県行徳町行徳駅前）
- (3) エネルギー最小化をめざす次世代省エネ工場 P.09
環境配慮型工場（D'S SMART FACTORYの建設と商品化）

5. 受賞作品講評

環境報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

セコム株式会社

セコム株式会社 CSR レポート 2014

これまであまり名前が出てこなかった会社であるが、環境報告書としても CSR 報告書としてもよくまとめられた作品である。GRI、環境省、ISO26000 の各ガイドラインとの対照表が掲載されているため、全体構成が評価者としては大変分かりやすい。資源循環型・低炭素型のビジネスモデルを掲げており、CO₂ではCDPでも高い評価を受けている。本業でのICTの活用も環境配慮型といってもよいであろう。バリューチェーンの取組、地域とのコミュニケーションなどの取組も充実している。企業年金のESG投資は高く評価すると共に今後は、昨今、大きな関心を呼んでいる財務と非財務上を統合する統合思考へのチャレンジも期待したい。

株式会社日立製作所

日立グループ サステナビリティレポート 2014

報告書では、イノベーションとグローバル化が強調されており、グローバル経済の今日的課題にチャレンジしている。環境報告では、温暖化防止を頂点に資源循環と生態系保護を展開している。ISO14001を大部分(連結決算の子会社含めると948サイトとのこと)取得しており、システムの取組が秀逸である。又、CSRマネジメントもステークホルダーを中心に記載しており、これには体制や労働安全衛生、顧客満足、社会貢献、株主・投資家との関わり等幅広く記述されており、第三者検証や、温室効果ガス排出量検証も充実している。統合報告へのチャレンジを評価すると共に、今後、統合思考のリーダーたるべく様々な試行とその積極的開示を期待したい。

持続可能性報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

大阪ガス株式会社

大阪ガスグループ CSR レポート 2014

G4ガイドラインに準拠したマテリアリティの特定プロセスを整理した上で、マテリアリティ分布マップによりわかりやすく伝えている。さらに、その特定されたマテリアリティについてKPIに基づき活動を評価することにコミットメントしていることには企業の真摯さを感じる。長期経営ビジョンを実現していくために、エネルギー事業者としての経営戦略と整合したCSRマネジメントに取り組んでおり、統合思想を強く意識した報告となっていることも高く評価できる。報告書を取り巻く環境の変化をしっかりとらえてチャレンジしている良い作品である。

本田技研工業株式会社

Honda 環境年次レポート 2014 グローバル編
 Honda 環境年次レポート 2014 日本編
 Honda 環境年次レポート 2014 日本編 データ集
 Honda 環境年次レポート 2014 PREMIUM EDITION

グローバル及び各地域市場での事業戦略における環境戦略が明確であり、その経済的合理性と環境上の利点もロジカルに想定されている。トリプルゼロなどの考え方も素晴らしい。CO₂への取組は地球温暖化報告大賞にも匹敵するといつてよい。全社が上から下まで一体となって取り組んでいることがわかる良い作品である。パフォーマンスの経年評価、戦略計画の達成状況もわかりやすく、目標達成に向けた取組、ガバナンスもすばらしい。マテリアリティも事業上の「リスク」と「機会」の観点から中長期的に取組むべきテーマを抽出、自社の事業モデルを踏まえて環境課題の優先順位付けを実施しており、網羅性もトップレベルである。

地球温暖化対策報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

マツダ株式会社 マツダ会社案内・マツダサステナビリティレポート【ダイジェスト版】2014
 マツダサステナビリティレポート 2014【詳細版】

2050年に向けて社会的に目指されているエネルギー・環境対応の方向性や、社会におけるクルマへのニーズを想定したうえで2020年に向けた環境目標を定めている。「エネルギー/温暖化対策」、「資源循環の推進」、「クリーンエミッション」、「環境マネジメント」というグリーンプラン2020のもとでの、特に内燃機関の環境改善を戦略的重点課題に定めて具体的に取り組んでいることは社会の評が極めて高い。また、推進している「ブランド価値経営」とも整合して進められていることを評価したい。一方で、個別テーマ記載において、情報量は多く網羅的なのはよいが、メッセージ性があるともっとよい。報告範囲も海外は限定的なのでやや残念。

ヤマトホールディングス株式会社 ヤマトグループ CSR 報告書 2014【ハイライト版】

トラック輸送を基盤とする事業形態において、「環境負荷軽減のために何かできるか？」という視点が明確である。共同、ダントツという言葉であらわされる様々な取組、例えばボックス単位での共同輸送等による積載効率の向上や、緩衝性を確保しながらの梱包材総量の減量対策、モーダルシフトの推進、物流ターミナル「羽田クロノゲート」活用による大幅なCO₂削減効果等、環境負荷軽減に向けた、具体的取組について分かりやすく記載されており、地球温暖化対策の見本となる作品である。

5. 受賞作品講評

生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

サラヤ株式会社

持続可能性レポート 2014

事業特性に沿った明確な「コミットメント」を打ち出している。Biodiversity in Good Company のリーダーシップ宣言の署名を継続し、その実施状況が具体的に報告書内に示されており、同社の本業全般が深く生物多様性に配慮した活動となっていることが理解できる。例えば、「緑の回廊計画」を提案し納入業者に持続可能な原料取り扱いを促し、環境負荷の低い界面活性剤の商品化を行っている。また、PRTR 対象の界面活性剤の代替品として知られる物質の生分解性が悪いことから、独自の指標(カーボンバランス)を採用し、同社商品の環境負荷の管理を行っているのも評価できる。

信頼性報告特別優秀賞（サステナビリティ情報審査協会会長賞）

株式会社クボタ

KUBOTA REPORT 2014 – 事業・CSR 報告書（WEB 版）

統合報告にチャレンジ、全体に簡潔で定量的、事実情報を漏らさないよう記述している点は評価できる。情報は誠実だが今回はネガティブなものは少ない。ただし、不祥事については別途開示済みであり、それ故信頼性への努力は評価できる。国際社会・地域社会への貢献などの双方向コミュニケーションへの取組も信頼性向上の重要な方策である。B2B であってもステークホルダー・ダイアログをもっと表面に出すとおもしろい。

審査委員会特別優秀賞（第 18 回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）

積水ハウス株式会社

Sustainability Report 2014
WEB 版プリントアウト資料

CO₂、生物多様性など環境取組はすばらしく、社会性取組とともに CSR 報告として大変優れている。国際統合報告評議会(IIRC)の価値創造プロセスを活用し、統合思考を意識して、住まいづくりに関する社会課題と同社のビジネスモデルのつながりを図式化している点が評価できる。その結果に基づき、重点的に取り組む五つの重要なテーマを特定し、「CSV」戦略として位置付けている。そして CSV 戦略ごとに、「背景」「目指す姿」「活動方針」「リスクマネジメント」「実践・実績」「評価」及び「課題」等を開示しているのでわかりやすい。サステナビリティ・ビジョンの達成に向けた中長期の時間軸を意識したマイルストーンを期待したい。

株式会社東芝

東芝グループ環境レポート2014
 東芝グループCSRレポート2014
 東芝グループアニュアルレポート 2014年3月・事業編
 東芝グループアニュアルレポート 2014年3月・財務編

どの大賞になってもおかしくない、すぐれたレポート群である。非財務情報を財務情報の中でもしっかりと取り上げていこうという経営の姿勢が見られる。事業者として ESG 投資家と最も適切な対話を可能とする報告書の優れた事例といってよい。特に、CSR レポートに記載された、経営方針「創造的成長の実現」に沿ったマテリアリティの特定は、第三者機関を巻き込み、どのように特定したのか、そのプロセスについても明記されている。特定された「人権の尊重」「サプライチェーンでのCSR推進」「環境経営」の着実な取組の詳細な内容も含めて、他社の見本となる優良事例である。統合思考のリーダーを目指していきたい。

富士フイルムホールディングス株式会社

富士フイルムホールディングス サステナビリティレポート2014

マテリアリティの特定について詳細なプロセスや基準が述べられており、そこに第三者が関与するなど客観性がある。また、事業との統合思考の傾向が感じられる点で一歩進んだレポートであると評価できる。中長期ビジョンも設定しており、将来的なあるべき姿を明示している。バリューチェーンの考え方もグループ全体で進んでおり、バリューチェーンを含む報告が日本の中ではトップレベルに達していると思われる、

人材のテーマにおいては、ワークライフバランスの取組が充実している。今後は、ワークライフバランスから一歩進んだ、ダイバーシティに関する取組とその開示の充実も期待したい。

環境配慮促進法特定事業者賞（第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）

独立行政法人宇宙航空研究開発機構

JAXA 社会環境報告書2014

巻頭に特集として、JAXAで行っている最新の実験や研究開発が、地上とどう関わっているのかが分かりやすく説明されている。民間企業との協働の可能性や人工衛星の活用など、近未来に向けた可能性への期待を盛り上げている中に、「宇宙のごみ」といわれるスペースデブリの問題や対策なども掲載されており、読み応えがある。

一方環境側面についての記載については、淡々と網羅的な記載になっているが、端的な書きぶりで見やすい。JAXAの報告書は、特定事業者の中では早いうちからISO26000の7つの中核課題を意識した報告書を発行しており、環境ほどのボリュームではないが社会側面も開示しており、社会とのコミュニケーションツールとして優れている。

5. 受賞作品講評

国立大学法人京都大学

京都大学環境報告書 2014

省エネを中心とした従来の活動から、地域連携・運営手法等も包含したサステイナブルキャンパスの推進を本格化させ、国内外のネットワーク構築を行っている。報告書では、状況をグラフで示しながら計画や行動の必要性を分かりやすく伝えると同時に、活動している学生の写真やコメントも多数紹介されるなど読みやすさ・親しみやすさにも工夫があり、報告書を環境活動への参加を促すためのツールとしたい編集者の意図が良く体现されている。

国立大学法人熊本大学

えこあくと 2014 (熊本大学環境報告書)

昨年度同様に、非常に読みやすく工夫されたデザインで構成されている報告書である。図やイラスト、写真を効果的に配置し、文字の大きさの強弱は読んでいてポイントが把握しやすい。

エコキャンパスに向けて、エネルギー対策や自然共生については、データにプラスしてさまざまな取組・対策の記載があったが、循環型社会形成の項目で、更なる取組や対策を期待したい。

最後に、「対応中」については方針をしっかりと定めて少しずつでもよいので着実に推進することを期待したい。

国立大学法人三重大学

世界一の「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 環境報告書 2014

学長メッセージの中で世界一の「環境先進大学」を目指すと宣言し、2020年の中期目標を含めた高いCO₂排出削減目標を示すなど、経営者の強い意欲が伝わってくる。プレッジ・アンド・レビューによる活動推進の効果が期待できる。また、その目標達成に向けて「三重大学スマートキャンパス(MIESC)実証事業」など、全学を挙げて着実に実行していることが分かる。さらに、「オール亀山ポイント」など、大学での成果を地域へ展開しているものもあり、今後の取組の広がりにも期待したい。積み重ねもあり群を抜いた作品である。

優良賞

アースサポート株式会社

CSR 報告書 2014

環境情報としての網羅性は無いが、事業特性に特化した環境報告として分かりやすく読みやすい。ただし、CO₂の情報はこれからの時代としては必須なので、算定・記載を期待したい。また CSR 報告書としてお客さまとの関わり、従業員との関わり、地域との関わりについても報告されており、CSR に真摯に取り組む企業姿勢がよく分かる報告書である。

アズビル株式会社

azbil report 2014

同社のビルオートメーションと「低炭素社会」(CO₂削減)とは完全に結びついているのは当然である。従って、ライフサイクルまで自社製品を環境にマッチさせているが、数値情報を含め環境に関する記述が少ないのは課題である。

身近な問題(株主総会・リスクマネジメント・社会貢献、等)は良く書いてあり、読みやすさも工夫されているが、良いことばかりでなく、もう少し現状を記述することも必要と思われる。財務・非財務データを統合する統合思考の試みを期待したい。

荒川化学工業株式会社

環境・社会報告書 2014

ロジンを原料とした製品展開と「つなぐ技術」の記載が、同社の概要と環境配慮の取組を理解するために効果的で優れている。また、ステークホルダーのコメントが多く記載されている点や、松の植林活動は、同社の本業に則した取組を継続している点で好感が持てる。中堅企業であるがサイトが多く、そのサイト別報告を入れているのも企業が良く見えてよい。今後、低炭素社会に向けた長期的な目標の設定と取組を期待したい。

飯野海運株式会社

経営報告書 2014(日本語版・英語版)

トップコミットメントにおいて、事業との関連性の中で、環境負荷軽減等の具体的取組方針を明示しており、定量的な具体数値等の記載は少ないものの、報告書全体が、ストーリー性を持って構成されていることから、読者にとって読み易い内容となっている。

中堅企業ではあるが、グローバルに展開していることから環境・CSR についてもっと広範に様々な取組と開示を期待したい。

5. 受賞作品講評

イオン株式会社

イオンの環境・社会への取り組み 2014
イオン 環境・社会報告書

巨大グループなのでターゲット別に発行されているのは評価できる。社会の発展に貢献するサステナブル経営を推進すべく、重要指標を設け、それぞれの課題を経年でチェックし、取組状況を把握している。取組の多様さは群をぬいており高く評価される。また、部分的だが2020年の目標についても明記している。売上高の1割以上を占めるプライベートブランド商品に関して、基準を設け、取引先に対してCSR監査を実施している。店舗での環境取組も積極的で、影響力の大きさを考えると消費者教育の観点からも評価が高い。

株式会社伊藤園

S-book Sustainability Report 2014
Communication book
2014年度 伊藤園 CSR 目標(KPI)・環境目標 (2013年度実績を含む)

26000を軸にしたCSR,CSV,ESDを組み合わせたユニークな発想で経営について詳しく説明し、事業戦略として取組んでいることが良く理解できる内容になっている。ただし、社会的側面については項目によって内容の濃淡があり、特に、「人権」や「公正な事業慣行」については、これからのビジネス展開を考えるともう少しグローバルな視点も加味されるともっとよい。また、今後は財務報告とのリンクも明確にされることが期待される。

伊藤忠商事株式会社

CSR Report 2014

グローバルな事業展開、商社という事業特性を踏まえた、サプライチェーン上のリスク・機会を捉えた記述が随所に登場する。カンパニー毎のマテリアリティを記載し、取組等を明確に記載、環境への取組を環境会計も交えて、サプライチェーン上でリスク把握と関連性を持たせた事業展開が理解できる内容となっている。E,S,Gの要素全般を網羅したCSRレポートとなっている印象。第三者認証もあり、全体的な構成としても、ボリューム的にも優れた報告書である。マイナス情報やNGOとのダイアログ記事などがあるとよりよい。

株式会社イムラ封筒

株式会社イムラ封筒 環境報告書 2014

売り上げ200億強の中堅企業であるが、一生懸命作っていることがうかがわれる。森林再生などへの取組や間伐材の活用など事業を通じた取組の開示が充実している。一方、エネルギー使用量や温室効果ガスなどの環境パフォーマンス指標については、過去の実績のみで、具体的な目標や取組についての情報が不十分なので、今後は、内容の充実とまとまった構成を期待したい。

大阪いずみ市民生活協同組合

CSR レポート 2014 社会的責任報告書ダイジェスト版
CSR レポート 2014 社会的責任報告書詳細版

生協の報告書の中では一段レベルが上の秀作である。基本姿勢・基本方針が明確であるとともに、これらに対する評価についても外部審査等も交えて明快になされている。ただ、今後どう取り組んでいくかについて具体策の記述が少ないのは気にかかる。また、他の流通に比べて従業員教育やワークライフバランスの記載が詳細であり特筆すべき点である。

株式会社岡村製作所

株式会社 岡村製作所 CSR Report 2014

地球温暖化対策の定量目標を含む環境長期ビジョン(2020 年度目標)を策定し、達成に向けた計画が分かりやすく開示されている。「事業活動と環境影響」では、単年度の活動総括として売上高の増減、環境パフォーマンスの状況、順法状況が1頁に端的にまとめられているのはユニークである。その他にも、マテリアルバランスに環境配慮製品売上高、連結売上高等を含めるなど財務情報との融合を意識した独自性のある開示の工夫がなされている。今後は、定量情報の充実並びにその集計範囲の拡大、開示情報の信頼性向上への取組が期待される。

キヤノン株式会社

Canon Sustainability Report 2014

「サステナビリティレポート」という名称の通り、「持続可能な社会」を意識した報告書となっている。また、企業理念、CSR 活動方針等を明確に示すとともに、その推進体制や仕組についても図示を中心に積極的な説明がされている。CSR 報告書では環境がうすくなりがちであるが、本報告書は環境報告の部分も充実しており評価できる。ステークホルダーの意見を元にした組み立てもよく、重点項目が示され分かりやすい。また、表やグラフが多用されており、見やすくなっている。各種データが過去5年分あるのもよい。激戦の電機・電子業界なので大賞・優秀賞には選ばれなかったがそれらに匹敵する良い作品である。

近畿日本鉄道株式会社

CSR レポート 2014

CSR レポートとしての読みやすさ、情報量も適切であり、事業取組に対するスタンスが明確に理解できる。環境データも実データを見やすく表示、生物多様性へ取組等も含めて、環境負荷軽減への取組と事業活動をしっかりと関連付けたレポートとなっている点も評価される。純粋持ち株会社に移行を準備中であるが、「社会の発展に貢献」する 2050 年くらいまでの中長期の方針・戦略を期待したい。

5. 受賞作品講評

埼玉日本電気株式会社

環境アニュアルレポート 2014

随所にキャラクターを登場させ、専門的な内容をわかりやすく解説しながら、サイトレポートに記載すべき情報が漏れなく紹介されている。環境パフォーマンスに関しては、徹底的な電力の見える化により、工場の二酸化炭素排出量(絶対量)を 2013/2012 年度比で 15%削減するという立派な成果もあげている。さらにサイトレポートではあるが、主要製品の環境配慮設計に関して、わかりやすく解説している点も評価できる。

サントリーホールディングス株式会社

サントリーグループ CSR レポート 2014

事業を通じた CSR とはなんなのかという点を「6 つの CSR 重点課題」を軸にクリアに説明している。また、ISO26000 をベースに重要課題を抽出し、それぞれの取組内容について端的にわかり易く説明されている点は優れている。環境ビジョン 2050 での取組、特に水の取組の深化は高く評価できる。今後は、こうした取組が財務とどのようにリンクしているのかについての報告、即ち統合思考に挑戦し報告されることのトップランナーを期待したい。

株式会社滋賀銀行

CSR リポート 2014 地域と共に描く未来。

本業を通じた環境対応型金融商品・サービスの開発提供に努める「環境金融」を積極的に推進しており、地方銀行として先進的な環境保全の取組とその情報開示を推進している。特に生物多様性保全については、2010 年に策定された生物多様性保全方針に基づき、「生物多様性保全格付」「カーボンニュートラルローン 未来よし」、「いきものがたり活動」など本業と地域社会への貢献が融合した包括的な取組とその情報開示が実践されている。金融業の中では屈指の環境先進企業で、預対率やデフォルト率など、環境取組と業績向上の相関関係の開示をぜひ期待したい。

シスメックス株式会社

シスメックスあんしんレポート 2014

企業規模が拡大している中堅企業である事業者としては、広く満遍なく記述がされている点が評価できた。様々な項目の方針を掲載している点も、分かりやすく、評価できるが、それぞれの項目に対して、もう少し詳細な記述があるともっとよい。グローバル展開している素晴らしい会社であることが読み取れるが、一般には必ずしもなじみがないので 1 頁程度でよいが会社概要等があるともっとよい。

株式会社島津製作所

島津環境・社会報告書 2014

特集として4つ取り上げており分かりやすくチャレンジ精神が満ちた会社であることが読み取れる。中でも「生物多様性を利用した環境技術開発の支援」は他にはないユニークな発想と感じた。なお、詳細について、WEBに掲載しており、そのURLも各ページに載せている点も評価できる。中長期の方針・戦略の策定・記載を期待したい。

シャープ株式会社

シャープ サステナビリティ レポート 2014

サステナビリティレポートであるが、環境報告が充実している。特に環境会計では、経済効率まで言及しているところは、大変すばらしい。また、本業に関するところでの「低炭素社会」(CO₂削減)や「循環型社会」にも触れているのは同社製品の特質かもしれない。CSR報告書としても全般的に記載してあり秀逸である。但し「生物多様性」についてはもう少し製品との関連が欲しかったし、図やグラフのあるものは細かい説明は不要であり、更なる読み易さの努力を期待したい。また、「経営戦略とCSR」が必ずしも十分に機能していないように見えるので何が課題なのかも次回に記載を期待したい。

シャープ株式会社 亀山工場

CSR Report2014 亀山工場環境取り組みのご紹介

本サイトレポートは、地域住民、工場見学者や取引先等を主な読者ターゲットとして制作されている。冒頭の特集では、共に環境報告書を発行し、かつISO14001にも取り組む地元三重大学と環境活動に関する座談会を開催した内容を紹介しており興味深い。次に、同社製品のIGZO(イグゾー)の技術面での優位性に関してわかりやすく解説している。そしてサイト内での環境取組事例も豊富で、かつ例えば杉の木吸収量でも説明するなど、わかりやすさの点でも工夫がみられる。

シャープ株式会社 三重工場

シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2014

本情報誌の読者を地域の皆様と明確に特定し、全体が「地域目線」で構成・作成されている。特集では町長へのインタビュー、トピックスでは地域住民の皆様との意見交換会や、工場近くを流れる佐奈川の清掃活動に対する表彰他が記載され、これらからも三重工場は地域ステークホルダーを重視していることがわかる。もちろん環境報告書としての完成度は高く、さらに専門的な内容も読者にわかりやすく説明する工夫も観られる。

5. 受賞作品講評

株式会社商船三井

商船三井グループ 環境・社会報告書 2014

海運事業全般を取り巻く課題を整理し、読者が俯瞰的に理解できる構成・内容としており、環境に関するデータについては、網羅的かつコンパクトに整理し開示する等、「分かりやすい」レポートである点、優良なレポートとして評価されるものである。

この規模の会社であるからには安全や環境の取組情報、即ち非財務情報と財務情報との統合に向けた統合思考への挑戦を期待したい。

住友化学株式会社

住友化学 CSR レポート 2014 住友化学 CSR レポート 2014 DATA BOOK

化学業界で用いられている「レルポンシブルケア」活動を中心に、CSR 活動のそれぞれの活動の記載が充実している。また、各ページが 2013 年度の目標と実績、2014 年の目標をキーに活動実績を開示しており、優れた PDCA が存在することが確認できる。全体的に従業員の登場が多く、コミュニケーションツールとしても評価ができる。第三者保証と第三者のコメントを併記するなど、信頼性向上の取組も充実している。報告のバウンダリーが項目により差があり分かりにくいのと、現場がよく見えない点が課題である。

住友ゴム工業株式会社

住友ゴムグループ CSR 報告書 2014

石油外天然資源タイヤ「エナセーブ 100」の発売は、環境配慮商品として非常に高く評価できるが、生産に伴うエネルギー消費に関する報告があるとさらに良かったように思われる。全般的には CSR ガイドラインに沿った活動が一覧表にまとめられており、2013 年度の目標、実績、自己評価や次年度の課題がわかりやすい。「G・E・N・K・I」という分かり易い形での CSR 推進もユニークで、大きな成果に結びついていくことを期待したい。

住友電気工業株式会社

SEI CSR 報告書 2014

読み易い編集となっている良い作品である。外部機関認定を受けた機関からの第三者審査を受けていることはもとより、第三者意見、ステークホルダー・ダイアログなどにも積極的に取り組んでいる。

定量情報の透明性についても、総量/原単位ともに開示するほか、バウンダリーの明示、算定方法の概要などの配慮が見られるが、連結にするのはこの規模の会社では喫緊の課題と考える。

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社	CSR コミュニケーションレポート 2014 CSR 取り組み事例集
------------------------	---------------------------------------

今年度よりレポート体系を見直し、CSR 取組の全体像・6つの重点課題・ESG データで構成される本編と別冊の事例集に分けることで読みやすさの改善が図られている。グループ CSR ビジョンおよび CSR 重点課題に沿ったグループ CSR-KPI を新たに策定開示しているのも先進的である。また本編においては安心・安全・健康に資する商品・サービスの提供や金融機能を活かした社会課題の解決などの重点課題における KPI とその進捗を示すなど、本業を通じた社会課題の解決に向けた全体像が包括的に報告されている。大賞候補といってもよい作品であるが、長期的方針・目標の表現の仕方への工夫を期待したい。

大日本印刷株式会社	DNP グループ CSR 報告書 2014 DNP グループ環境報告書 2014
-----------	---

担当役員メッセージで生物多様性の取組が丁寧に述べられている点や、環境管理体制において「生物多様性グループ」が設置されている。本業における調達・製品開発での生物多様性配慮に加え、次世代教育や、地域を巻き込んだ取組(「市谷の森」計画)など幅広い活動や、グループ全員を対象とする生物多様性教育が実施されている点等から、生物多様性保全に DNP グループ一丸となって積極的に取り組んでいることが読み取れる。また、信頼性担保の取組もかなりのレベルである。今後は、数値目標の設定等、定量情報の開示充実も期待したい。

太平洋セメント株式会社	CSR レポート 2014
-------------	---------------

GRI ガイドライン第4版に則って実施された、バリューチェーン全体を考慮したマテリアリティ分析の過程及び結果を詳細に開示。また、製品リコールやアスベスト健康障害発生状況等のネガティブ情報並びにその対策を積極的に開示している。唯一の日本企業として参加している WBCSD の CSI(セメント産業部会)が定める憲章に基づく活動を行っており、CSI 独自の KPI を用いた実績開示が興味を引く。

グローバル企業として、海外及び特にバリューチェーン全体への取組の深化と開示を期待したい。信頼性担保についてもかなりのものがあり、大変良い作品である。

5. 受賞作品講評

武田薬品工業株式会社

Annual Report 2014(AR)
CSR Data Book 2014(CDB)

先進的に国際的な各種原則やガイドラインに則り、多様なコミュニティやステークホルダーとの対話を重ねて CSR 活動を推進し、マテリアリティの特定に関する詳細な記載も分かりやすく、CSR ガバナンスが充実していることが伺える。「非財務情報に関する第三者保証」の範囲を増加し、環境面では、2012年に独自に策定した「グローバルEHS(環境・健康・安全)方針」に基づく体制を構築し、リスク低減に向けた監査体制を充実させている。また、バリューチェーン全体でのCO₂排出量を把握していることも評価できる。大賞候補といっても遜色ない。

特筆すべきは、統合報告として日本でも進んだ企業のひとつであるといえる。今後は、CSR 活動の中長期的なビジョンについてまとめていくとよりレベルアップしていくと思われる。

株式会社タムロン

CSR レポート 2014

国連グローバル・コンパクトの10原則に照らして会社の方針と2013年度の実績を開示しているのが分かりやすいが、頁数の不記載等の編集に乱れがあるのは惜しい。

取組はISO26000に沿って開示しているのも分かり易い。CSR 調達に関するサプライヤーアンケートや紛争鉱物対応としての使用鉱物の来歴調査、顧客・取引先満足度調査結果の開示など、サプライチェーンマネジメントに関する取組の他、女性管理職比率目標を設定し達成するなど(数値は開示なし)、ダイバーシティについても積極的に取り組んでいることが伺える。

環境の取組では化学物質、大気、水質等のデータ開示もあるとよい。

中国電力株式会社

2014 エネルギアグループ環境報告書

環境に関する情報を網羅的に記載し、環境行動計画との整合性がわかるように述べられている。事業活動における環境影響についても一覧できるようになっており読者の理解が進む工夫がなされている。環境に関するデータについて第三者検証を受けていることは評価できる。今後は、原子力についての安全運転等を含めた方針が明確に示されることや、再生可能エネルギーについて地元との協働についての方針等を期待したい。報告書はレイアウトの工夫があると更に分かり易くなる。

帝人株式会社

2014年 帝人グループ CSR 報告書

図表などを活用し読み易い作品に仕上がっている。事業ごとにおける環境負荷削減の取組が分かりやすく表示されている。「ステークホルダーへの付加価値配分」の金額推移を明示しており、この試みは環境保全・社会的活動に対する取組の本気度の指標となりうるので、とても興味深い。女性の活躍については早くから取り組まれているが、外国人も含めた長期のダイバシティ・ポリシーが見えるともっとよい。トップのコミットメントは新任で2016年までの中期計画の途中ということもあり従来の継続的なものであるのはやむを得ないが、今回は2030年もしくは2050年をにらんだ中長期方針・戦略を期待したい。

株式会社ティラド

社会・環境報告書 2014

売り上げ1000億円前後の中堅企業ではあるが大手企業並みにしっかりと書けている。

製品環境指標(製品価値/環境負荷)=環境効率で製品を選別/環境貢献製品として売り上げ目標を立てるなどかなり先進的。21年目標もある。

事業との関係性で、事業計画とうまくリンクして書ければ競争力をうまく表現できるようになる。歴史のある会社であるが現社名からはどんな会社かは一般には分からないので、半ページ程度でもよいが沿革を記載すると親切である。

東京都水道局

東京都水道局環境報告書 2014

東京都水道局環境報告書 2014 概要版(日本語版・英語版)

安全でおいしい水の安定供給と使用エネルギーの最小化という「東京水道エネルギー効率化10年プラン」を策定したことに象徴されるように、水と環境の保全を真摯に考え熱心に取り組んでいることが報告書から伝わってくる。環境会計について第三者審査を受けていることも誠実さの現れであるといえる。また、概要版はコンパクトでありながらも東京都水道局の環境保全活動が網羅的かつ適切に記載されており読みやすい構成になっている。

東邦ガス株式会社

環境・社会報告書 2014

環境に関する情報を網羅的に記載し、環境行動計画との整合性がわかるように述べられている。事業活動における環境影響についても一覧できるようになっており読者の理解が進む工夫がなされている。2022年までの中期経営計画を策定されているのは評価できるが、具体的なアクションプランの工程表がないのは画餅になりかねない懸念を持つ。環境に関するデータについて第三者検証を受けていることも評価できる。報告書レイアウトの工夫があるとさらにわかりやすくなる。

5. 受賞作品講評

東洋インキ SC ホールディングス株式会社 東洋インキグループ 社会・環境活動報告書 2014

新事業ドメインとして3つを定めサイエンスカンパニーへの変革をかがけており、中でも環境面ではサステナビリティサイエンスの事業ドメインをクリアにし、環境調和指数を工夫したり、温室効果ガス排出量では Scope3 まで把握している。製品開発に LCA を導入し、非化石系原料を採用するなどの取組がみられる。今後、低炭素社会に向けて、同コンセプトに長期的な目標を設定するなどして、各取組の成果をアピールしていくことで、よりよいコミュニケーションツールとして活用できると思われる。

東洋製罐株式会社

サステナビリティレポート 2014

製品での取組記載(特集)、統合マネジメントシステムなどの取組は優れている。資源循環に関する記載、経済的側面に関する記載の強化を期待したい。一定の取組があるのだが、事業との関わり含め、ストーリー性を持って読めるよう工夫するともっとよくなる。

海外展開を開始されているので社会的側面の取組強化は喫緊の課題と思われる。

日本精工株式会社

CSR レポート 2014

同社の CSR 活動は「本業のビジネスを通じ、云々」を旨とし、具体的には地球温暖化対策、省資源・リサイクル対策、生物多様性保全などを含む。リスクマネジメントとテクノロジーにかなりの注力をしていることが読み取れる。各取組への方針と数値目標・実績を関連事業分野の活動に即して情報開示し、明快さが評価できる。

2016 年には創立 100 周年を迎えるとのことなので、次の 100 年のビジョンは無理としても 2050 年ビジョンは期待したい。

日本製紙株式会社

日本製紙グループ CSR 報告書 2014

木を植え、育てて伐採し、加工するという本業の中で、森林、生物多様性を守る必要性があり、これに正面から向き合っている強みがある。生物多様性の保全については、「日本製紙グループ環境憲章」の冒頭に掲げ、これにもとづき伐採禁止地域、保護地域を指定している。持続可能な原材料調達のために、森林認証制度を取得するほか、「原材料調達に関する理念と基本方針」にもとづき、トレーサビリティ、アカウントビリティを徹底しているとしているが、欧米並みのデュー・ディリジェンスはいずれ必須になると思われるので仕組構築を期待したい。環境・CSR 報告書としてのレベルも相当高い。

日本通運株式会社

CSR REPORT 2014

まず環境、次に人権というところを起点に事業活動の持続的成長についてストーリー性をもって示しており、読み手にとって理解されやすい内容となっている。輸送事業における環境負荷軽減を最重要課題と捉え、各種取組を実践していることがよくわかる。社員教育、BCM 等も事業全体との関連性でしっかりと読み取れる内容となっており、途上国における輸送における省エネルギー対策や、国内でのモーダルシフトなど、これからの事業活動にも、環境負荷軽減における先進的取組がなされていくであろうことが読み取れる内容となっている。

日本電信電話株式会社

NTT グループ CSR 報告書 2014
アニュアルレポート 2014

CSR・環境に対する、グループ各社の取組を統合し、NTT グループとしての将来に渡る持続的成長について、ESG の各側面において、先行的に取組を行っている点など網羅的に理解できる内容となっている。CO₂を大量に排出しているグループとして様々な取組は評価できるが、2050年での日本国 80%以上削減を前提に 2050年目標の策定と抜本的な方策の策定・開示を期待したい。また、本レポートと併せて作成しているアニュアルレポートにおける統合思考・報告等、今後の先駆的な取組も期待したい。

日本郵船株式会社

NYK レポート 2014

本レポートでは、自社事業におけるリスクと機会について、環境・安全・人材育成という3つの側面における分析を行い、また、トップコミットメントにおいても、ESG への配慮について言及されている等、持続的成長、企業価値向上に向けた取組姿勢が明確に示されている。さらに、財務データとの相関を意識しつつ、各事業分野の将来展望までもスコープに入れた記載がなされているなど、統合的思考にチャレンジしている。中長期的な取組が地につけているのもすばらしい。

ヒューリック株式会社

CSR レポート 2014

この規模の事業者の作品として秀逸である。

都心型賃貸不動産業として、環境経営に意欲的な姿勢がうかがえる。所有ビルの CO₂削減の中長期計画を明示し、環境負荷の KPI も整備され、環境マネジメントが回る仕組が整備されている。要点が簡潔に記載されているが、WEB との連携としては、他の情報の所在を示すともっとよい。財務・非財務情報は合体の先の統合思考への挑戦を期待したい。

5. 受賞作品講評

富士通株式会社

富士通グループ環境報告書 2014

トップ自らが地球課題を認識し、事業と関連付け、課題解決を図ろうとしている。また、課題解決の道筋を示した3カ年の中期行動計画では、CO₂削減から環境配慮製品開発など、目標を出来る限り数値化し、実績が分かるよう、工夫がなされている。また、継続して有識者と環境ダイアログを実施している点もコミュニケーションを通じて社会からの期待に耳を傾けようとする姿勢が評価できる。レポート後半のデータ編も読み手に親切な作りになっている。

ブラザー工業株式会社

環境への取り組み

環境スペシャルサイト「brotherearth.com」

会社として環境問題に取り組む姿勢が、環境報告書にも表れており、各項目について広く満遍なく報告されている。なお、2013年のトピックや具体的な事例が多く掲載されている点も評価できる。WEBページの充実も特筆すべきことであるが、連結全体像は良く見えない。WEB報告書の場合でも編集は重要なので、見本となるような工夫を期待したい。環境報告書部門に応募されているが、グローバル企業としてCSRにも相当の注力をされているようなので全体でアピールされるのもよいのではないかとと思われる。

株式会社ブリヂストン

ブリヂストングループ環境報告書 2014

2050年を見据え設定された「環境長期目標」よりバックキャストイングし、「生物多様性ノーネットロス」と事業の持続的な成長の両立を図ろうとしていることが伺われる報告書となっている。長期目標の「生物多様性ノーネットロス」のため、2013年よりマテリアリティ分析を行い、優先して取り組むべき課題を特定、影響の最小化と貢献の拡大に関し、数字を挙げながら検証している。また重要な資源である天然ゴムの、地域全体での生産性の向上を通して、目標の実現を目指している。統合思考へのチャレンジもうかがえ、全体としてレベルの高い環境報告書である。

三菱樹脂株式会社 平塚工場

2014 環境報告書 三菱樹脂 平塚工場

サイトレポートにとって必要な情報を、わかりやすく、かつ真摯に伝えようとしている。また環境汚染予防設備をプロットした工場配置図を示した上で、それらを説明している点や、環境苦情・事故に関するネガティブ情報を積極的に開示している点も、周辺住民に対して一定の説明責任を果たしている。社員による作業改善提案が極めて活発で、当該社員のコメント入りの事例は素晴らしい。

リコーグループ

リコーグループサステナビリティレポート 2014

環境経営のマテリアリティ特定プロセスの概略を示し、VCM では「CSR 調達セルフアセスメント制度」の導入と「責任ある鉱物調達」に関する全サプライヤーへの調査の実施(回収率 90%以上)などが先駆的である。巻末の KPI 一覧表において主要環境負荷データの第三者検証とカバー率を明記している他、社会的側面を含む全項目について GRI-G4 はじめ主なイニシアティブの該当項目を挙げている。さらに 9 名からなる取締役会の 1/3 を社外から迎え、企業価値の向上に努めている。統合報告へのチャレンジでは統合思考のプロセス等の開示を期待したい。

理想科学工業株式会社

環境経営報告書 2014

同社製品は平成 25 年度の「省エネ大賞」を受賞したが、報告書には低炭素社会と製品との関連の記述は少ない。これは今後競争力の源泉となり得る要素であり、財務と統合した統合思考にもアピールできる点なので充実を期待したい。「環境経営報告書」だけに環境に関する記載は充実しており読み易い。特に「データブック」や「WEB サイト掲載情報」を付けたのは大変有意義である。第三者審査も充実している。この企業規模として大変内容は充実しているが、トレンドグラフでは環境事項が横ばいか下降気味なのは気になる。

株式会社リヴァックス

CSR 報告書 2014

廃棄物処理事業者として循環型社会におけるリヴァックスの役割とその取組が包括的に開示されており、加えて CSR 全般についても ISO26000 をベースに報告されており、中小事業者の CSR 報告書として非常に優れた報告書である。またマテリアルバランスの経年変化や非常に充実したネガティブ情報の開示など、多くの工夫がなされている。この規模の会社でここまでの作品ができることは、発行していない会社に対する大きな警鐘である。

レンゴー株式会社

環境・社会報告書 2014

リサイクル、省資源は本業の利益増進に直結するメリットがあるが、展開している各主要事業に応じて、製品を通じた環境負荷削減に向けての努力・貢献について分かりやすく記載している。主力工場における太陽光発電、バイオマス発電は、本企業の本気度を表すものとして高く評価できる。温暖ガス削減については長期目標も具体的である。頁数は多くなく、従って情報量もそれほど多くはないが、法令違反、苦情、環境事故といった不利益情報はしっかりと記載している点は高く評価できる。ステークホルダーとのコミュニケーションや、環境経営による経済的利益についての記載があればもっとよい。

5. 受賞作品講評

環境レポート部門

大賞（環境大臣賞）

イワヤ株式会社

環境活動レポート 2013 年度版

玩具等の企画・開発製造・販売を行っている事業者である。

優しい色使いとキャラクターを用い可愛さを感じさせるレポートは、事業内容と調和しており、読み手である消費者、特に子供を持つ家庭を意識したデザイン・構成と大変わかりやすい環境活動レポートである。

環境方針の内容、環境目標達成の手段、結果の評価と考察も明快である。また、社内における環境活動推進の基軸となる POP の内容にもセンスが感じられ、環境活動に会社が注力していることがうかがえ、従業員の環境意識を高めることの一助となっていることが推察される。

環境法令と実施状況の評価も他社の手本となる内容である。本業に関連し、ソーラー電池で動く製品や、FSC 認証木材を使った製品を扱っていることは評価される。今後は、現在検討中とされる蓄電池を使った玩具の開発が期待される。



イワヤ株式会社

イワヤ株式会社

1. 会社概要

- (1) 事業者名
イワヤ株式会社
- (2) 所在地
〒121-8520
東京都足立区梅島2丁目14番7号
URL: <http://www.iwaya.co.jp>
- (3) 環境管理責任者
庄司 泰弘
TEL: 03-3889-6111
- (4) 事業の概要

- 玩具、ホビー製品、キャラクター雑貨、文房具、ギフト製品、生活関連用品の企画・開発と製造・販売
- 電気機器、ロボット、ゲーム機の組立加工



- (5) 事業規模
- 従業員数 39名
 - 売上高 11億円（2013年事業年度実績）
2013年5月～2014年4月

2. 対象範囲

全組織、全活動を対象範囲とする。



イワヤ
ECO ACTION
REPORT 2014 2

3. 環境方針

「環境理念」

イワヤは、自然環境との調和を尊重し、楽しさや喜びを子どもたちと共有することを通して、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 「自然環境との調和」とは
循環している自然と調和しながら事業活動を行うことです。
2. 「楽しさや喜びを子どもたちと共有する」とは
玩具メーカーとして子どもたちとそのご家族と楽しさや喜びを共有し、子どもたちが安心して暮らせる環境を育むことです。
3. 「豊かで持続可能な社会」とは
少子高齢化する世の中でも、皆が豊かさや楽しみを享受できる循環型で低炭素な社会のことです。

「環境行動指針」

- I. 具体的行動内容
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質の適正管理
 - (5) グリーン購入の推進
 - (6) 環境配慮製品の開発、設け、販売
- II. エコアクション21の取組みにより環境への継続的な改善に取り組みます。
- III. 環境関連の法律、規則、条例等を遵守します。
- IV. 環境教育、訓練を実施し全従業員に環境方針を周知徹底すると共に環境保全活動への知識、認識の向上に努めます。
- V. 地球の子どもたちを対象にした環境教育の実施等
玩具メーカーならではの楽しい地域貢献、環境啓発活動に取り組みます。

2013年3月29日制定
イワヤ株式会社
代表取締役 CEO

松本 敏明



イワヤ
ECO ACTION
REPORT 2014 3

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

上島珈琲貿易株式会社

上島珈琲貿易株式会社 2013 年度環境活動レポート

珈琲豆の焙煎・加工及び販売等を行っている事業者であり、EA21 の認証・登録範囲としては本社を含む3つの事業所を対象としている。

本業に係る取組項目も含めて、環境負荷改善の取組が、幅広い観点からきめ細かく徹底して行われており、実績も上げている

環境活動レポートにおいては、継続して取組を行っている内容については、データを用いて経年推移を紹介したり、毎年切り口を変えて紹介するなど、工夫がみられる。また、図表・写真の掲載やレイアウト、親しみやすいキャラクターを活用した独自の工夫がなされており、読み手にとってメッセージ性の濃い内容となっている。事業者の「環境コミュニケーションへの意欲」が強く感じられ、またそれに成功していると思われる。

木下緑化建設株式会社

環境活動レポート

公共緑地や街路緑地などの施工や維持管理を行っている事業者である。森林管理の重要性を認識し、「緑のライフサイクル」というビジネスモデルに沿ってマテリアルバランスを示し、環境負荷低減と環境ビジネスの創出、さらには地域貢献と環境経営の事業との一体化に真摯に取り組み、その進展がうかがえる。

事業部門ごとの目標を設定していることで、活動状況が明確であり、その記録やデータも写真、図表を用いることでわかりやすいものとなっている。CO₂削減目標が未達成である事についての原因分析も行い、その対策も明記している他、その責任者も明確になっている。

今後は、他業種も含め、先進的な取組を行っている環境活動レポート等も参考にし、より洗練された環境活動レポートとなることを期待したい。

株式会社 GE

環境活動レポート 2014

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理のマテリアルリサイクル、サーマルリサイクル施設を有する総合リサイクル事業を行っている事業者である。

コンパクトながら、事業概要、目標と実績、活動計画とその評価、様々な環境活動について、図表やグラフで分かりやすく記載されており、読み手を意識した、読みやすく工夫された内容で構成されている。また、教育訓練、コミュニケーション、緊急事態対応訓練、新事業の研究等についても積極的に情報公開を行っている。

環境活動を更に発展すべく、社内では環境活動レポート審査委員会や、緑の委員会の設置に加え、環境ラリーによる全社員参加の取組をスタートしており、同業者をはじめ多くの事業者の参考となる内容が盛り込まれている。

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会吹田病院

平成 25 年度さいすい環境活動レポート

本業の病院事業に即して、環境方針と環境項目・目標の設定、活動計画の策定が行われており評価できるが、病院事業の内容や、本業での取組となる感染性廃棄物の削減、平均在院日数の短縮などの取組についてより詳しい紹介があれば、読者の印象に残る環境活動レポートになるとと思われる。また、事業の内容から、地域社会への貢献活動(CSR)や生物多様性への取組があると、さらによい。

各環境目標項目については、目標値と実績値がグラフで表され、見やすく明瞭であるが、前年実績を目標設定の基準としているため、長期的な環境負荷低減に結びつかない可能性があるのは残念である。

全体としては、レイアウト、色使い、文字の大きさ、図表の用い方等、読みやすくきれいにまとまっており、分かりやすい環境活動レポートに仕上がっている。

株式会社 KDP

環境活動レポート 2013

一般労働者派遣事業、職業紹介事業、業務請負業を主業務とするサービス業の事業者である。

会社概要や事業における環境配慮の紹介も写真や解説で掲載し、営業活動にも活用しようとの意思が伝わってくる内容にまとめられている。

全社員を対象に、環境活動における目的・達成手段を理解させ定着させるための「みんなでエコ ACTION」運動を推進している。一方、本業の人材派遣業では、派遣先デパート、スーパーのギフト詰合せ業務において簡易包装や効率的な作業による省エネなどを提案している。

環境ビジネスの展開として、派遣業務で利用する物流倉庫の省エネに着目し、照明の省エネ提案も行っており、環境経営を最大限活用しようとする意気込みが伝わってくる環境活動レポートである

有限会社坂井商店

エコアクション 21 環境活動レポート 2014

一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の中間処理(焼却・破碎・圧縮)、最終処分場(安定型)を主な業務とする廃棄物処理業者である。

事業内容、処理施設、処理工程等について、表や写真を活用し、読者が理解しやすい構成にまとめられている。また、マテリアルフロー、マテリアルバランス、所有車両の低公害車の導入状況、焼却施設の排出ガスデータ、最終処分場の排水データ等について詳細に情報公開を行っている。

環境負荷の実績については、過去 8 年の推移を棒グラフで示すとともに、二酸化炭素排出量割合を円グラフで示すなどの工夫がみられる。各目標達成への取組について、各従業員に担当を割り振り、従業員全員参加で取り組もうとしている様子がうかがわれる。

有限会社三立

2013 年度環境活動レポート

PC 周辺機器、ガラスレンズの組立、調整、検査などを行っている事業者である。

取組面では、グリーンカーテンの設置、トイレタンクフロートバルブの節水タイプへの交換、MSDS の重点を独自にまとめた要点まとめ版の更新など、新たに 26 もの新規項目に着手されている。環境活動レポートの印刷においても、片面印刷から両面印刷に変更されるなどの改善が施されており、前年の奨励賞受賞に満足することなく、継続的改善を迫る姿勢が感じられた。

他にも、想定される緊急事態やその対応方法、環境関連法規制などについて事業に即した具体的な情報が記載されており、EMS が着実に運用されていることがうかがえる内容となっている。

一方、紙使用量、廃棄物等目標に未達成項目が多いことが気になる。取組結果やパフォーマンスに対してもこだわりを強めて環境活動を継続していくことが期待される。

しずおか信用金庫

環境活動レポート 2014

80 年の歴史を有する、従業員数 753 名の地域金融機関である。

エコアクション 2.1 の活動に関して、本業の金融業を踏まえた環境方針や環境目標の設定、活動計画の作成が行われており、評価できる。また、環境活動の取組の実績を各月ごとにまとめ、評価を行うなど、高い水準の活動が行われており、地域社会への貢献活動についても積極的に取り組んでいる。

環境活動レポートは、図表の掲載など適切な情報の記載はあり、コミュニケーションへの意欲がうかがえるが、やや定型的であり、紙面の構成等にさらなる工夫の余地がある。また、環境活動レポートの印刷について、同社では他に様々な環境活動への取組を行っていることから両面印刷にすることが望まれる。

株式会社シュガーアンドスパイス

2013 Sugar&Spice 環境活動レポート

各国の子供モデル、タレントを広告やメディアに送り出している従業員 11 名全員が女性のモデルプロダクションである。

所属モデルとその家族に向けてエコトレーニングを行い、その子供たち（エコキッズ）と共に、イベント、ホームページ、Facebook、ブログなど様々な媒体を活用して、若い世代へエコメッセージを発信していることが紹介されている。本業への取組では、環境関連広告等への出演推進や企業とのコラボレーションでエコビジネスの創出を環境目標に設定し、実績評価を行うなど環境経営に力を入れている。

環境活動レポートは、環境活動についての写真、図表、コメントなどがコンパクトにまとめられており、読みやすくわかりやすい興味を引きつける内容となっている。

5. 受賞作品講評

株式会社セリタ建設

株式会社セリタ建設 環境レポート 2013

地盤改良、間伐材を使ったランドづくり、森林保全、アロマオイルの販売などに取り組む土木工事業者である。

「この大地に暮らすコト」という企業メッセージにふさわしく、地盤と森林を中心に事業活動の中に「エコ」を取り入れていることがうかがえる内容となっている。

数値目標はグラフ化され、定性的な取組については、写真を多用した大変読みやすいレポートであり、読み手に親切である。製品・サービス及びグリーン購入における取組として、環境配慮型工法の提案件数が目標の27倍にも達していることは特筆される。

総量での目標に加え、原単位の管理と分析も加味することで、より効果的な活動とコミュニケーションを期待したい。

高島屋スペースクリエイツ株式会社

環境活動レポート 2014

高島屋の workshop として設立され、現在は建設業として建築・内装仕上げ・大工工事などを元請または下請として全国規模で行っている事業者である。商業施設などの企画・設計・施工なども行っている。

環境活動レポートは、CO₂排出量について各サイトのデータを年度ごとの推移でグラフ化しており、効果が目に見えやすいレポートとなっている。さらに各事業所が当該地域の地方公共団体によるエコ事業所の認定を受けるなど積極的な取組を行っている。また、責任者の顔や、活動内容がわかりやすいことも評価できる。

環境方針で事業内容がわかるとなお良い。また、主要事業である内装工事の現場における取組内容を表現することも期待される。今後は、他業種を含め、先進的な取組を行っている環境活動レポート等も参考にし、さらに充実した環境活動レポートの作成が望まれる。

株式会社 DINS 堺

環境活動レポート 2014

産業廃棄物の収集運搬、一般廃棄物・産業廃棄物の中間処理（選別、破碎）、廃木材を原料とする燃料用エタノール製造を行っている廃棄物処理業者である。

事業内容、処理施設、廃棄物の収集運搬、中間処理施設における許可内容、許可品目、処理工程等についての説明は一般の読者が理解しやすい内容にまとめられている。

また、目標と実績、取組計画とその評価を、図表、写真を活用してコンパクトに取りまとめているとともに、随所に「エコ豆知識」を記載し、読み手を意識した内容となっている。

環境活動計画には現場に密着した具体的な取組が盛り込まれており、これらの実践が着実に消費エネルギー削減等の効果となって、すべての項目で目標を達成している。

株式会社トーカイ

環境活動レポート 2013 年版

印刷物の企画・デザイン・製版・印刷・製本を行っている、創業 50 年を超える印刷会社である。

数値目標のグラフ・表と、社会貢献活動のビジュアルの記載により、企業全体での組織的な活動が良くわかるレポートである。100 人未満の規模では内部監査は推奨事項であるが、その様子が記載されていることから、積極的な取組姿勢がうかがえる。

今後の改善点として、生産設備・工程の全体像と現場の状況を示すことで、個々の目標・数値の意味がより理解されやすくなると思われる(例えば現状では、洗浄剤の記載がないことをどう評価するかの判断材料がない)。

株式会社仁張工作所

環境活動レポート

精密板金加工製品、スチール家具・什器等の板金加工製品を製造している事業者である。

環境活動レポートは落ち着いた配色で、1 ページ 1 テーマでまとており、センスの良さを感じるわかりやすいレポートである。

環境目標達成の手段は、品質不具合削減による CO₂ 削減、塗装不良削減による化学物質使用削減など、業務を通じて改善を行っていることが明快である。加えて、電気から都市ガスヒートポンプへの変更、デマンド監視システムの設置、屋根の遮熱塗装の実施、浄水利用のための貯水槽パイプの新設等環境投資もしっかり実施している。

また、マネジメントレビューの内容は具体的であり、次年度の改善に対する事業者の真剣さが伝わってくる。

環境目標の設定が原単位(売上)で設定しているが、絶対量についても指標として監視するとなお良いであろう。

株式会社林自動車工業

エコアクション 21 環境活動レポート

自動車販売・整備を行っている事業者である。

冒頭の代表者のことばと環境方針には、本業に係る項目を含めて明確かつ積極的な記載がされており、事業者の姿勢が伝わってくる。

事業の特徴を踏まえ、環境目標や環境活動計画は適切にかつ具体的に記載されており、独自の視点も盛り込まれている。例えば本業に係るエコ整備やリサイクルパーツ活用の項を設定し、具体的に取組を展開している点や、リサイクルパーツ活用や改造電気自動車使用による二酸化炭素排出削減量を算出して紹介している点などは評価できる。

いくつかの項目については次年度の取組内容の記載を充実させることが望まれる。また、余白をあえて残してページ割に気を使うなど、レイアウトを工夫すればより読みやすい環境活動レポートになると思われる。今後も本業に即した取組が期待される。

5. 受賞作品講評

株式会社北陽商会

環境活動レポート(Vol.10)「地球と仲良し」

自動車整備を行っている事業者である。

本業の自動車整備業に即して、環境方針と環境項目・目標の設定、活動計画の作成が行われており、評価できる。

環境活動レポートでは、四半期ごとに取組の実績をまとめ、評価を行うなど、高い水準でエコアクション21の活動が行われており、構成の仕方、図表やイラストの使用法、1年間の活動の紹介、地元の紹介など、レポートとしての完成度は極めて高い。

また、わかりやすい図表の掲載や、環境問題についてのクイズを採用するなど、環境問題への関心の喚起が行われており、読み手を飽きさせず、読みやすいように毎年新たな工夫がなされており、事業者の「伝えたい」という気持ち、コミュニケーションへの高い意欲がうかがえる。

株式会社弥生石油店

環境活動レポート 2012年12月～2013年11月

石油製品の販売を行っている事業者である。

環境目標項目ごとに過去の目標及び実績をグラフ化し、その増減理由もグラフ内に明示しているため、理解しやすい。また、事業の実態を踏まえて、本社と関連事業所ごとに環境活動計画を策定し、実績を取りまとめ、評価するなど、読み手に分かりやすくまとめられている。ただし、前年度実績を目標としており、年度によって目標値が大幅に変動しているため、長期的な視野に立った中長期目標の設定が望まれる。

全体的に、グラフ、写真、イラスト等を多用し、読者がイメージしやすいように構成されているので、環境方針や組織の概要などの掲載の仕方にもう一工夫があれば、より親しみやすい環境活動レポートになると思われる。

ユーレックス株式会社

2013年度 環境活動レポート

国内唯一のオイルヒーター専門メーカーとして自然豊かな八ヶ岳のふもとに事業所を構えている。

レポートのデザインは秀逸であり、見やすく、わかりやすい環境活動レポートとなっている。拡大生産者責任を果たすため、販売したオイルヒーター製品を回収し、リサイクルを行っていることは評価される。今後は、販売量に対する回収率、回収目標等があればなお良い。

部門別実行計画の中でサービス課は修理効率の向上、技術・製造課は生産効率向上、品質管理課は入荷部品の不良削減、業務課は在庫差異の削減など品質向上の要素も取り入れ、業務の中で環境改善を実施していることは評価される。

過去の履歴を掲載し、中期的な改善の進捗度をわかるようにすること、また、製品への環境配慮の取組が未達成となっているが、その内容についての記載がないので、これを改善する等が期待される。

来ハトメ工業株式会社

環境活動レポート 2014年版

金属材料を使用する容器、ケース、ガイドの製造を行っている事業者である。

様々な環境活動が豊富なデータを交えて詳細に紹介されている。また、随所に環境管理責任者によるコメントが記載されており、データの背後にある現場の雰囲気、意気込み、課題等が伝わってくる。

特に、環境方針に新たに「5S」が追加されたことから、改めて全従業員を巻き込んで環境活動を進めていこうとする姿勢が感じられた。

一方、字がやや細かく、レポートを初めて手に取る読者にとっては見づらく感じられる。また、一昨年大賞を受賞したために注目されている企業であることを考慮すると、前年からの変更点、改善等がよりわかりやすい形で明示されていけばなお良いと思われる。

テレビ環境 CM 部門

大賞（環境大臣賞）

※該当なし

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

株式会社東芝

あなたと LED の 10 年

毎日、「ただいま」と玄関をあげて帰ってくる地味な会社員。そこには、10年間彼を見守り続ける LED の灯り。120 秒という長尺の CM であるが、映し出されるシーンは全て玄関だ。場面を固定することで、10 年という歳月がいかに一人の人間やその家族にとって重みを持つものであるかをうまく表現している。そして、長い時間共に生きる LED 電球のメリットも。シリーズ第 3 弾の CM であるが、新鮮さを失わず、むしろどのような状況にあらうとも人の生活に寄り添ってこそ環境製品の意味があるというメッセージが明確に伝わる好作品に仕上がっている。

6. 審査委員

6.審査委員

(審査委員長・座長除く 50 音順、敬称略)

環境報告書・環境活動レポート部門 審査委員

山本 良一	東京大学 名誉教授／東京都市大学 特任教授【審査委員長】
大熊 一寛	環境省総合環境政策局 環境経済課長
小澤 ひろこ	国際統合報告評議会 リレーションシップ・マネージャー
上妻 義直	上智大学経済学部 教授
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事／G4 マルチステークホルダー委員会 アドバイザー
佐藤 泉	弁護士
寺田 良二	一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長
藤村 コノエ	NPO 法人環境文明21 共同代表
森下 研	一般財団法人持続性推進機構 専務理事
八木 裕之	横浜国立大学経営学部 教授
和貝 享介	日本公認会計士協会 常務理事

テレビ環境CM部門 審査委員

山本 良一	東京大学 名誉教授／東京都市大学 特任教授【審査委員長】
佐野 寛	日本デザイン機構 理事／有限会社スタジオ・エス 代表取締役社長
高岡 美佳	立教大学経営学部 教授
中原 秀樹	東京都市大学環境情報学部 教授／グリーン購入ネットワーク 会長
安川 良介	環境カウンセラー

環境報告書部門 ワーキンググループ委員

猪刈 正利	株式会社インターリスク総研 コンサルティング第一部 環境グループ シニアマネージャー・上席コンサルタント
岩佐 允勝	グリーン企画社 代表
大川 昌晴	環境省総合環境政策局環境経済課
奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 副主任研究員
春日 秀文	春日法律事務所 弁護士
鹿住 貴之	認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK 理事・事務局長
川原 千明	EY 新日本サステナビリティ株式会社
川村 雅彦	株式会社ニッセイ基礎研究所 保険研究部門 上席主任研究員
北橋 みどり	NPO 法人 エコ・リーグ 監事
阪野 朋子	NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局
坂本 茂實	坂本技術士事務所 代表
田原 英俊	あらた監査法人 サステナビリティ・サービス マネージャー
塚本 奈穂子	有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス
鶴田 佳史	大東文化大学 環境創造学部 准教授
中山 育美	一般財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課
根村 玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会
早川 直孝	一般財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査部 調査主任
播野 直美	KPMG あずさサステナビリティ株式会社
三樹 尚子	ミキオフィス 代表
葎嶋 真理	オフィスむぐらじま SRI アナリスト
村上 智美	みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント
森田 了介	全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟 政策・労働条件局 常任中央執行委員
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事/G4 マルチステークホルダー委員会 アドバイザー 【座長 (コーディネーター)】

6. 審査委員

環境活動レポート部門

上田 充宏	KPMG あずさサステナビリティ株式会社、エコアクション2.1 審査人
宇田 吉明	宇田環境経営研究所 代表、エコアクション2.1 審査人
大竹 公一	一般社団法人 アニマルパスウェイと野生生物の会 代表理事兼事務局長、 エコアクション2.1 中央事務局判定委員
黒柳 要次	株式会社パデセア 代表取締役、エコアクション2.1 参与、 エコアクション2.1 審査人認定委員、エコアクション2.1 審査人
田中 充	法政大学社会学部 教授、エコアクション2.1 参与、審査人認定委員、 エコアクション2.1 運営委員・判定委員【座長（コーディネーター）】
槌屋 勝嘉	リ・パレット株式会社 相談役、エコアクション2.1 中央事務局 判定委員
西原 弘	有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長、 エコアクション2.1 審査人
森下 研	一般財団法人持続性推進機構 専務理事 エコアクション2.1 中央事務局 事務局長

7.応募団体一覧

環境報告書部門

アースサポート株式会社	キヤノン株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	九州電力株式会社
アイカ工業株式会社	京都生活協同組合
旭硝子株式会社	国立大学法人京都大学
アサヒグループホールディングス株式会社	キリンホールディングス株式会社
株式会社アシックス	近畿日本鉄道株式会社
味の素株式会社	株式会社クボタ
アズビル株式会社	国立大学法人熊本大学
荒川化学工業株式会社	グリーンブルー株式会社
飯野海運株式会社	国立大学法人群馬大学
イオン株式会社	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
石塚硝子株式会社	生活協同組合 コープさっぽろ
株式会社伊藤園	生活協同組合 コープみらい
伊藤忠商事株式会社	株式会社神戸製鋼所
伊藤ハム株式会社	国際石油開発帝石株式会社
株式会社イムラ封筒	コクヨ株式会社
いわて生活協同組合	独立行政法人国立高等専門学校機構
国立大学法人岩手大学	株式会社小松製作所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	株式会社サークルKサンクス
宇部興産株式会社	埼玉日本電気株式会社
エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社	サトレストランシステムズ株式会社
SGホールディングス株式会社	サラヤ株式会社
エスベック株式会社	独立行政法人産業技術総合研究所
株式会社NTT データ	サントリーホールディングス株式会社
NTT コミュニケーションズ株式会社	三洋化成工業株式会社
国立大学法人愛媛大学	JFE プラリソース株式会社
株式会社エフピコ	JFE ホールディングス株式会社
大阪いずみ市民生活協同組合	株式会社滋賀銀行
大阪ガス株式会社	国立大学法人静岡大学
株式会社岡村製作所	シスメックス株式会社
カゴメ株式会社	株式会社島津製作所
株式会社カネカ	清水建設株式会社
川崎汽船株式会社	シャープ株式会社

7. 応募団体一覧

シャープ株式会社 葛城事業所	株式会社タムロン
シャープ株式会社 亀山工場	国立大学法人千葉大学
シャープ株式会社 奈良事業所	中国電力株式会社
シャープ株式会社 三重工場	中国電力株式会社 岡山支社
シャープ米子株式会社	中国電力株式会社 鳥取支社
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	帝人株式会社
JAL グループ	株式会社ティラド
上新電機株式会社	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
株式会社商船三井	株式会社東海理化
信越化学工業株式会社	東京エレクトロン株式会社
国立大学法人信州大学	東京応化工業株式会社
新日鐵住金株式会社	国立大学法人東京学芸大学
独立行政法人森林総合研究所	東京急行電鉄株式会社
独立行政法人水資源機構	国立大学法人東京大学
住友化学株式会社	東京都水道局
住友金属鉱山株式会社	株式会社東芝
住友ゴム工業株式会社	株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社
住友電気工業株式会社	株式会社東芝 大分工場 セミコンダクター&ストレージ社 大分工場
住友林業株式会社	株式会社東芝 横浜事業所
セガサミーホールディングス株式会社	TOTO 株式会社
積水化学工業株式会社	東燃ゼネラル石油株式会社
積水化成品工業株式会社	東邦ガス株式会社
積水ハウス株式会社	国立大学法人東北大学
セコム株式会社	東北電力株式会社
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	東洋インキ SC ホールディングス株式会社
損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社	東洋製罐株式会社
大栄環境グループ	国立大学法人鳥取大学
ダイキン工業株式会社	凸版印刷株式会社
大日本印刷株式会社	豊田ケミカルエンジニアリング株式会社
太平洋セメント株式会社	国立大学法人名古屋大学
大和ハウス工業株式会社	西日本電信電話株式会社
大和リース株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
株式会社タケエイ	ニッコー・ファインメック株式会社
武田薬品工業株式会社	日本信号株式会社
田辺三菱製薬株式会社	日本精工株式会社
多摩市役所	日本製紙株式会社

日本製粉株式会社	北陸電力株式会社
日本通運株式会社	国立大学法人北海道大学
日本電信電話株式会社	本田技研工業株式会社
日本特殊陶業株式会社	前田建設工業株式会社
日本ハム株式会社	マツダ株式会社
日本郵船株式会社	国立大学法人三重大学
独立行政法人日本原子力研究開発機構	ミサワホーム株式会社
日本電産株式会社	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
日本山村硝子株式会社	三井ホーム株式会社
パナホーム株式会社	三菱樹脂株式会社 長浜工場/浅井工場
株式会社バンダイナムコホールディングス	三菱樹脂株式会社 平塚工場
株式会社 PFU	武蔵野市
東日本電信電話株式会社	明治ホールディングス株式会社
株式会社日立製作所	株式会社モスフードサービス
ヒューリック株式会社	森永乳業株式会社
株式会社ファンケル	矢崎総業株式会社
国立大学法人福井大学	ヤマトホールディングス株式会社
富士通株式会社	国立大学法人横浜国立大学
富士電機株式会社	横浜ゴム株式会社
富士フイルムホールディングス株式会社	ライオン株式会社
富士レビオ株式会社	リコーグループ
芙蓉総合リース株式会社	理想科学工業株式会社
ブラザー工業株式会社	株式会社リヴァックス
株式会社ブリヂストン	レンゴー株式会社
プリマハム株式会社	YKK 株式会社
プリンス電機株式会社	YKK AP 株式会社
文化シャッター株式会社	

7. 応募団体一覧

環境レポート部門

株式会社あいおい NDI サポート BOX	三協ワシメタル株式会社
始良衛生有限会社	山陽製紙株式会社
株式会社旭道路	有限会社三立
株式会社アメニティいわき	株式会社 GE
学校法人有馬学園たかつ幼稚園	株式会社シーピーアール CPR 飯山工場
イー・アンド・イーソリューションズ株式会社	JFE プラリソース株式会社
イデアシステム株式会社	株式会社 GEO ソリューションズ
伊那金属工業株式会社	塩田工業株式会社
イワヤ株式会社	公営財団法人滋賀県文化振興事業団
株式会社インターフォワードシステムズ	しずおか信用金庫
上島珈琲貿易株式会社	株式会社シュガーアンドスパイス
株式会社宇部セントラルコンサルタント	白鷺電気工業株式会社
大鐘測量設計株式会社	信幸プロテック株式会社
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会吹田病院	新日本カレンダー株式会社本社 東京支店 名古屋支店 九州支店 丸亀工場
大阪狭山市役所	新日本カレンダー株式会社 三田工場及び配送センター
大阪信用金庫	株式会社親和テクノ
株式会社大智鍛造所	生活協同組合 CO・OP とやま
カイシン工業株式会社	株式会社セリタ建設
株式会社環境計画研究所	センテック株式会社
特定非営利活動法人環境ネットやまがた	相互電設株式会社
木下緑化建設株式会社	株式会社ソルテック工業
九州林産株式会社	第一化学工業株式会社
株式会社京都庵	ダイネツ商事株式会社
一般財団法人熊本市駐車場公社	株式会社大和生物研究所
クリヤマ株式会社	高島屋スペースクリエイティブ株式会社
群馬合金株式会社	株式会社中央発明研究所
株式会社 KDP	株式会社 DINS 堺
ゴウダ株式会社	東海クラリオン株式会社
光洋電器工業株式会社	東洋冷蔵株式会社
学校法人郡山開成学園	株式会社徳倉
株式会社小松建設	都市産業株式会社
コムパックシステム株式会社	トヨタ部品群馬共販株式会社
有限会社坂井商店	中野町産業株式会社
株式会社坂口製作所	新潟トヨペット株式会社
桜井資源株式会社	西東京市役所

西日本公栄産業株式会社	株式会社北陽商会
日研総業株式会社	株式会社マコメ研究所
日邦電機株式会社	株式会社みすずコーポレーション
日本化学機械製造株式会社	三立応用化工株式会社
株式会社仁張工作所	株式会社徳倉
ニュークリア・デベロップメント株式会社	三菱日立パワーシステムズエンジニアリング株式会社 構内事業部及び総務部
株式会社法月電設	箕輪町役場
はごろもフーズ株式会社	株式会社みやま 本社/本社工場
株式会社林環境	株式会社村山興業
株式会社林自動車工業	明京電機株式会社
原工業株式会社	メイコーマシン株式会社
株式会社原幸商店	株式会社山田製作所
平沼産業株式会社	株式会社弥生石油店
株式会社フェローテックセラミックス 石川工場	ユーレックス株式会社
藤枝市役所	株式会社吉武工務店
株式会社藤枝農産加工所	株式会社ライト
株式会社フジタ	来ハトメ工業株式会社
株式会社フジヤマ	株式会社ライブ商事オートライブ・シナダ
双葉建設株式会社	株式会社力組
有限会社不動建設	リトルスタジオインク株式会社
ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社	株式会社リリーフ
ベストプラ株式会社	

テレビ環境CM部門

ソニー株式会社	株式会社東芝
---------	--------



環境省

第18回 環境コミュニケーション大賞事務局

株式会社ダイナックス都市環境研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル3階

TEL:03-3580-8221 FAX:03-3580-8265